

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		近江八幡市子ども発達支援センター				公表日	8年3月2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・子どもの動きや姿から運動遊具の配置や入れ替えを行い、活動の内容などを考えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用定員や状態像に合わせた職員の配置に努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃とともに、週末には念入りな清掃をすることで清潔な環境を保っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもの気持ち切り替えられない時に気持ちを落ち着けるため保育士と一緒に個別の部屋やスペースに入れるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・療育後に職員全員で振り返りの時間を設け、よりよい支援につながるよう努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価だけでなく、日常から保護者の意見や意向を把握できるよう積極的に働きかけています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価は受けられていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所主催の支援所向け研修会や他機関主催の研修など可能な限り参加し、職員の資質向上に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・こどもの最善の利益を考慮しながら、児童発達支援管理責任者と担当保育士などこどもの支援に関わる職員で話し合い、検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・こどもの支援についてはできるだけ具体的に支援内容を設定していますが、家族支援においては更なる充実に向けて検討を重ねています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは支援者で検討を重ねながら立案できる体制にしています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・こどもの状態に合わせてプログラムを見直す等、環境や活動内容が固定化しないようにしています。	こどもの安心のためのルーティン化と固定化の区別をつねに意識していけるようにします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前には必ず打ち合わせを行い、その日の支援について連携しています。よりよい支援が行えるよう職員間のチーム意識の向上を心掛けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終了後には必ず振り返りを行い、次回の支援につながるようになっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・会議の内容については事業所内で周知できるように回覧しています。	・日常からこどもの姿の観察や支援者からの聞き取りなど情報共有を心がけます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就園、就学時は各校園所への面談や書面でのやり取り等を実施し、こどもの様子や支援歴など情報を共有しています。また、互いの見学を行いこども理解や支援につながるよう連携しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・市内の児童発達支援事業所と年間数回の会議を開催し、情報交換などの連携を行っています。また、事業所見学など互いの質の向上に向けて取り組んでいます。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・内部講師や外部講師を招いて作業療法士や理学療法士などから助言をいただき、質の向上に努めています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・担当者が各会議に出席し、事業所の現状や事業内容などの説明をしています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		利用児のほとんどが保幼こども園との並行通所であるため、交流機会の設定は必要性が低いですが、必要な児の利用がある場合には地域と連携した交流、体験の調整していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者の方にこどもの状況や課題目的の説明などを丁寧に伝えるようにしたり、聞き取ったりする中で共通認識のもと、よき支援者になれるよう努力しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年間を通して保護者学習会や保護者交流会(グループワーク)、ペアレントメンター事業(先輩保護者と語る会)などを開催しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・保護者からの相談先としてより認知されるように努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年間を通して継続した保護者同士の交流の場を設けることで、保護者同志が安心して過ごせる時間を大切にしています。	・きょうだい同士で交流する機会は実施できていません。どのような支援ができるか今後とも検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			・予定表を発行していますが、同時にLINE配信したり、施設の概要や事業の取組などHPやSNS等で発信したりするように努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域の方を招待するような行事は行っていません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者や医師による状況確認を行い、個々の緊急対応マニュアルを作成し、緊急時には対応できるように職員間で周知しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・入所時に食物アレルギーの確認を行い、必要時に対応ができるようにしています。	・食事提供は行っていません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置し、定期的に職員研修を行い、適切な対応をしています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用契約時に保護者に説明し理解を図っています。また、児童発達支援計画にも記載しています。		